

様式

技術名称	エアモルタルによる水中施工	技術の分類	グラウト工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無し (H24消失)
会社名等	麻生フオームクリート株式会社	担当者	増田知久	連絡先	044-422-2061
技術の概要	一般に水が存在にぜい弱なエアモルタル(エアミルク)だが、配合設計や特殊材料添加により水が存在下においても、軽量性/充填性を生かした充填が可能となっている。	対象者	☐ 国土交通省職員 ☐ 港湾管理者 ☐ 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンフの有無	有り	
その他の資料	発表資料抜粋				
技術の特徴	➢比較的安価でありながら、地下埋設管内充填等において分離することなく溜水と置換/充填可能な材料(スイムグラウト) ・スイムグラウトによる11m防潮堤基礎部の充填 ➢エアモルタルに可塑性剤を先端ショットして可塑性を持たせ、トンネル背面空洞充填材としての可塑性グラウト材を日本で初めて普及させたエアバック工法 ・エアバック工法とエアモルタルのハイブリッド工法による既設護岸嵩上げ ・世界遺産端島(長崎軍艦島)における老朽構造物基礎部の補修 ➢可塑性材料でありながら5000mの圧送が可能なNLG工法	その他	時間、環境が整えば可塑状グラウト製造工程のデモンストレーションが可能(机上にて)		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。